

市政報告

コロナ禍から命と

生活を守るために

横浜市会議員 竹内やすひろ

コロナ禍から市民の命と生活を守るため公明党は9月3日、新市長に対して「感染予防対策の実施」、「医療提供体制の拡充」など15項目に渡る緊急要望書を提出。

そして9月29日に追加の補正予算として、今後の第6波への備えも万全



公明党
竹内 やすひろ

- 公明党横浜市会議員団団長
- 公明党神奈川県本部幹事長代理
- 防災士

事務所 神奈川県大宮通127-16
コスカビル1F
☎045-716-6822

にするために、市内医療機関と横浜市が協定を締結し、ハイリスクの軽症患者者に高い効果を発揮する「抗体カクテル療法」を実施する等の議案を議決しました。

「抗体カクテル療法」とは

「抗体カクテル療法」は

公明党が政府に利用拡大を求め、市長にも要望したものです。これまで全国で約3万4千人に実施。東京都の分析（9月3日時点）では、投与を受けた人の約95%に症状が改善する等、高い効果が見られています。

「若者、深夜・早朝

接種」の推進

ワクチン接種について

は、「若者向け接種センター」および「深夜・早朝接種」もスタートしました。詳しくは下記の概要表をご確認ください。

* 若者向けワクチン接種センター概要

対象者	16歳から39歳まで(市内在住)
開設時期	1回目接種 10月2日(土)から10月22日(金)まで(3週間) 2回目接種 10月23日(土)から11月12日(金)まで(3週間)
開設時間	火曜日～木曜日、土・日曜日:13時30分開場、14時接種開始、20時15分受付終了 金曜日:15時30分開場、16時接種開始、22時15分受付終了 ※月曜日、閉設
場所	関内中央ビル6階(中区真砂町2-22)(JR「関内駅」から徒歩1分)
接種可能規模	1日1,000人程度(約18,000人×2回)
接種ワクチン	ファイザー社製 21日(3週間)間隔で、2回目接種

* 深夜・早朝接種概要

対象者	18歳以上(市内在住)
開設時期	1回目接種 10月8日(金)、9日(土)、15日(金)、16日(土) 2回目接種 10月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)、11月5日(金)、6日(土)
開設時間	金曜日及び土曜日の22時から翌7時まで(最終受付時間6時15分)
場所	横浜市立大学附属市民総合医療センター(南区浦舟町4-57) (市営地下鉄「阪東橋駅」から徒歩5分)
接種可能規模	1日120人程度(約720人×2回)※翌7時までの予定者数
接種ワクチン	ファイザー社製 21日(3週間)間隔で、2回目接種

※詳細は市「新型コロナウイルスワクチン接種について(特設ページ)」の確認を。